型式 CG510 KZCS

荒野の用心棒
ジョージ

かんたん操作ガイド

この「かんたん操作ガイド」は「荒野の用心棒ジョージ」について
簡単にお知らせする為のものです。

本製品をご使用になる前に必ず「取扱説明書」を読み、理解された上で正しい取り扱いをして下さい。





安　全　な　作　業　の　た　め　に

■正しい服装と保護具

運転・作業にふさわしい服を着用し、軽装やサンダル履き等で運転・作業をしないでください。



■始業点検

運転の前に必ず始業点検を行い、異常個所はただちに補修してくださいまた、車両に堆積した草等は綺麗に取り除いて下さい。火災のおそれがあります。

【燃料の点検と補給】
燃料計で燃料を確認し、不足している場合は燃料キャップを開けて燃料を補給します。

使用燃料：軽油
タンク容量：60ℓ




「エンジン取扱説明書」もあわせてお読みください。
本製品はハンドガイド式草刈機です。草刈以外の用途には使用しないでください。
本製品は公道及び公道とみなされる道路での運転はできません。
本製品に添付されている警告ラベルの指示に従い禁止事項は絶対に行わないでください。

1 点検・整備

点検整備の実施について

本機・作業機は常に適切な状態で使用できるように取扱説明書に従い、確実に点検整備を実施してください。なお、定期点検整備には専用の整備機器や指定の油脂類、また油脂類交換後の適切な処理などが必要なため、指定サービス工場を利用してください。

エンジンオイル・冷却水は取扱説明書に従って点検を行い、ラジエーターコア・オイルクーラ・ラジエーターネット・エアクリーナエレメントの清掃についても取扱説明書に従い適切に行って下さい。

油脂、液類の補充及び交換

本機を満足に働かせるには、油脂類(オイル・グリースなど)管理が重要です。これらは、使用している間に徐々に減ったり、汚れたりして劣化していき、性能低下や故障(焼き付き・作動不良・異音)の原因となります。

日常点検整備

故障を未然に防ぐには、機械の状況をいつも知っておくことが大切です。日常点検は作業前に欠かさず行ってください。

1.車体を一回りし、油や水の濡れた跡がないか点検してください。
(特にラジエータやエンジン、各高圧ホースの継ぎ目・油圧シリンダ・作業機駆動系・燃料系統配管)
漏れがあるときは、濡れている箇所調べ、漏れを止めてください。分からない時は、指定のサービス工場に依頼してください。

2.各部のボルト・ナットのゆるみを点検し、ゆるんでいれば増締めして下さい。
(走行部・エンジン部・配管の継ぎ目・作業機など)

定期点検整備

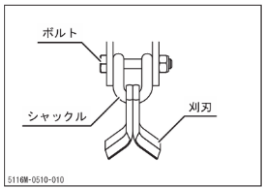
弊社が指定している定期点検箇所は点検時期(アワメータ・機関等)で実施していただくものです
これは、故障をできるだけ防止し、作業の遅延を少なくするためです
また、シーズン終了後にサービス工場での1年点検も承っておりますので、実施されることをおすすめします。

刈刃・取り付けボルトの点検

刈刃は高速回転するため、刈刃の減り具合、固定ボルト、ナットの摩耗を特に注意し、使用時毎に点検します。刈刃の摩耗・変形により、モア部の振動が大きくなると装置破損に至る可能性があります。点検方法は取扱説明書に従って行い、異常がある場合は新品と交換してください。刈刃交換時は固定ボルトも同時に新品と交換し、部品は必ず純正部品を使用願います。

チェックするポイント

“刈刃の減り具合”
“刈刃固定ボルトの摩耗”
“シャックルの摩耗・変形”



2 始動・運転

エンジン始動

1 駐車ブレーキスイッチが[駐車]になっている事を確認します。



2 作業機運転スイッチが[停止]にあることを確認します。



3 作業機フローティング制御を[OFF]にします。



4 安全スイッチのひもを体に固定します。



5 キーを[ ]の位置まで回しエンジンを始動します。

※冷間時(外気温10°以下)の場合はキーON[ ]を5秒間持続で自動余熱がかかります。



6 約5分間無負荷で暖気運転をします。



運転の仕方

①副変速スイッチを任意の位置に入れます。
②アクセルレバーを[(高速)]にします。
③作業機昇降スイッチ[上]を押し、作業機を上げます。
④駐車ブレーキスイッチを[走行]にします。





3 作業

作業機の操作（モア）

1 アクセルレバーを[🐇(高速)]にし、エンジンの回転数を上げます。



2 作業機の高さ下限レバーで刈高さの下限の位置を設定します。



3 作業機昇降スイッチで刈高さを調整します。



4 作業機運転スイッチを回し[運転]にします。



5 作業機正転逆転レバーで刈刃を回転します。



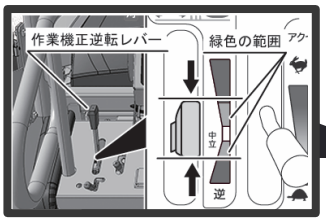
6 副変速スイッチを[🐢作業時(低速)]にします。

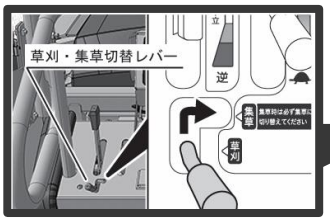


作業機の操作（集草機）

①作業機正逆転レバーを中立位置にします。
②草刈・集草切替レバーを集草の位置にします。
③作業機正逆転レバーをマークの緑色の範囲内の任意の位置に動かして集草作業を行います。

アドバイス：作業機正逆転レバーの角度により集草機の回転速度を調節することができます。







3 作業

作業機　スライド



①作業機昇降スイッチの[上]を押し、作業機を地面から上昇させます。

②作業機スライドスイッチを[右]に倒し、作業機を右側にスライドさせます。

③元の位置に戻す場合には、作業機スライドスイッチを左に倒します。

⚠作業機を地面に設置したままスライドさせると、故障の原因になります。

作業機フローティング制御装置の操作



①作業機フローティング制御スイッチを【ON】にします。

②フローティング調整ツマミを作業機の車輪が浮きあがる直前まで回します。

⚠フローティング時、作業機高さ下限レバーは無効となります。

アドバイス：負荷が大きい時は沈加減にして作業機の浮き上がりを防止して下さい。

作業機ゲージ輪の調整

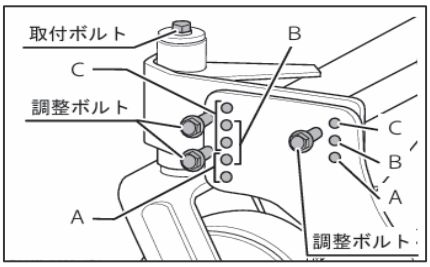
・作業機ゲージ輪の取付位置を変えることで、フローティング制御での刈高さを調整できます。

・ゲージ輪旋回軸上のカラー位置を変えることで更に10㎜の調整が可能です。

・作業機フローティング制御を使用しない場合は、ゲージ輪の破損防止のため、取付ボルトを緩めてゲージ輪を取り外して使用して下さい。

・又、ゲージ輪なしのガード（オプション）もございますので、別途販売店へお問い合わせください。 (右:5118 4183 000/左:5118 4181 000)

位置	刈高さ（目安）
A	８０㎜
B	６０㎜
C	４０㎜



3 作業

ステップ水平装置の操作



〈自動〉
ステップ水平装置スイッチを[自動]にすると左右方向の傾斜に対して運転席を常に水平に保ちます。

〈手動〉
1.ステップ水平装置スイッチを[手動]にします。
2.ステップ手動操作スイッチを[右]に倒すと運転席が右に回転（時計回り）し、[左]に倒すと運転席が左に回転（反時計回り）します。

アドバイス

・車輌の傾斜角度が20°以上で横転警告灯が点灯し、警報音が鳴ります。
20°以上　　ピッピッピッ…



25°以上　ピピピピピ…



・前後方向、左右方向の傾斜が35°以上になると、約5秒後にエンジンが停止します。
エンジンが停止した場合でも、再始動後約10秒間はエンジンが作動します。

! 作業時の注意

⚠ 30°以上の斜面では作業を行わないでください。

⚠ 斜面での旋回は乗車姿勢が不安定になり危険ですので、行わないでください。

・作業の前に必ず穴、障害物等を確認し、十分に注意して作業を行ってください。
・作業時は副変速スイッチを[作業時（低速）]にして、作業を行ってください。
・滑りやすい場所では作業を行わないでください。
・刈取作業中は最低２時間毎（枯草刈作業時は１時間毎）にエンジンルーム内を清掃してください。草やごみの堆積が多い場合はより頻繁に清掃してください。刈取った草が堆積したまま使用を続けると、エンジン、マフラーの熱により発火する危険性があります。
・ほこりの多い場所で作業を行う場合には、半日ごとにエアクリーナエレメントの清掃を行ってくださいエレメントの汚れがひどくなると、エンジンの始動不良、出力不足、寿命低下を引き起こします。
・刈刃が折損した場合には、ただちに新しい刈刃と交換してください。回転バランスがくずれ、異常振動を発生し、故障の原因となります。

4 作業機の脱着

作業機の取外

☞詳しい取外方法（動画）は、右記QRコードからご覧いただけます。

1 作業機高さ下限レバーを[作業機脱着]にします。

※作業機の脱着は必ず平坦な場所で行ってください。



2 駐車ブレーキスイッチを[P(駐車)]にし、エンジンを停止します。



3 作業機昇降スイッチの[⇩]を押し、作業機を地面に接地させます。



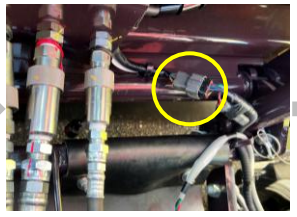
4 油圧ホースのクイックカプラーを外します。(3ヶ所)

※取り外し後はキャップを取り付けてください。



5 ハーネスのコネクターを取り外します。

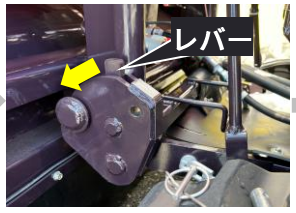
※集草機はカプラーが2つあります。



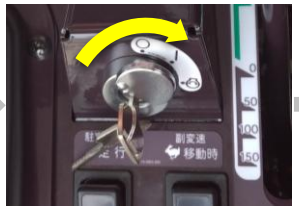
6 リンクピンを取り外し、ピンを抜きます。(左右2ヶ所)



7 レバーを倒し、ロックを解除します。(左右2ヶ所)



8 メインスイッチをON[I]に回し、モニター画面が表示されるのを確認します。



9 メンテナンススイッチを押してメンテナンス画面に移動します。



10 作業機脱着モードスイッチを押します。



11 画面が切り替わると作業機が完全に地面まで下がります。



12 一度[esc]スイッチを押してモードを解除します。



4 作業機の脱着

作業機の取外

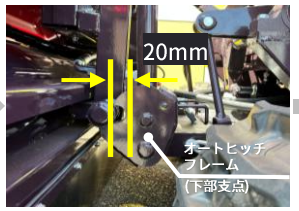
13 キーを[⏻]の位置まで回しエンジンを始動します。



14 副変速スイッチを[　作業時(低速)]にします。



15 下部支点と作業機の間に、20mm程度の隙間ができる位置まで後退します。



16 エンジンを停止し、再度メンテナンススイッチを押してメンテナンス画面に移動します。



17 作業機脱着モードスイッチを押します。



18 オートヒッチフレームに荷重をかけ、フック部が解除されるまで下げます。



19 フック部が作業機側のパイプより下がっていること確認します。



20 【esc】スイッチを押して脱着モードを解除します。



21 エンジン始動後、車両をゆっくり後退させて作業機を分離します。



4 作業機の脱着

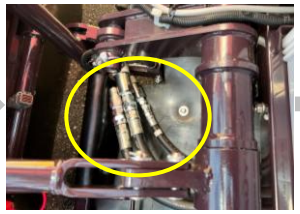
作業機の取付

☞詳しい取付方法（動画）は、右記QRコードからご覧いただけます。

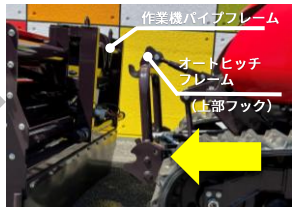
1 副変速を[🐢 作業時(低速)]にします。
※オートヒッチフレームが最下部まで下がっていることを確認してから取付を行ってくださ



2 油圧ホースが絡まないよう上にあげます。



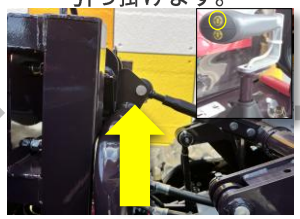
3 車両をゆっくり前進させてフック部を合わせます。



4 フック部がパイプとしっかり合わさっていることを確認します。



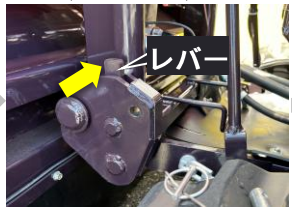
5 作業機昇降スイッチの[上]を長押しし、フック部を引っ掛けます。



6 作業機の尾輪が地面から少し浮く高さまでオートヒッチフレームを上昇させます。



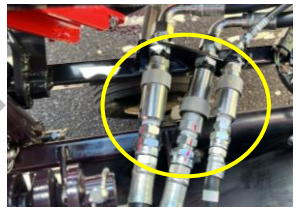
7 レバーを起こし、ロックします。
(左右2ヶ所)



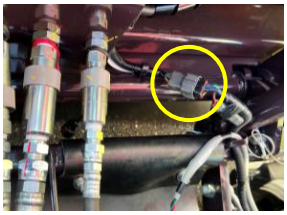
8 ピンを差し込み、リンクピンを取り付けます。
(左右2ヶ所)



9 油圧ホースクイックカプラーを取り付けます。



10 ハーネスのコネクターを取り付けます。
※集草機の場合はカプラーが2つあります。



⚠作業機が外れている状態でオートヒッチフレームを上げた場合、〈作業機取外〉と同じ要領で、手動でオートヒッチフレームを下げてから作業機取付を行ってください。

⚠作業機がしっかり固定されていることを確認してから、作業を行ってください。

⚠集草機も作業機脱着と同じ要領で取付、取外を行ってください。

⚠作業機の脱着は必ず平坦な場所で行ってください。